

平成 16年 3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成 16年 2月 20日

上場会社名 ティアック株式会社

上場取引所 東
本社所在都道府県 東京都

コード番号 6803

(URL <http://www.teac.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 坂井 淑晃

責任者役職・氏名 取締役本社機構担当 前中 茂志

TEL(0422)52-5133

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無

認識の方法との相違の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年 3月期第3四半期の業績概況(平成 15年 4月 1日 ~平成 15年 12月 31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年 3月期第3四半期	90,678	-	1,324	-	122	-	2,528	-
15年 3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)15年3月期	139,012	9.2	834	-	2,333	-	2,779	-

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
16年 3月期第3四半期	35.56	-
15年 3月期第3四半期	-	-
(参考)15年3月期	39.04	-

(注) 四半期決算の開示については、当第1四半期より実施しておりますため、前年同四半期については数値の記載を省略しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成15年4月1日から平成15年12月31日)までの当社をとりまく環境は、株価の上昇、米国景気の回復機運やイラク情勢の影響の收拾もあり明るさが見えはじめておりましたが、中間期末からの急速な円高の継続もあり、相変わらず先行きへの不安はぬぐえないまま推移しております。そういった環境の中で国内向け最高級AV機器、海外向け一般AV機器、業務用音響機器につきましては新製品の投入等により着実に収益性を改善することができました。CD記録再生からDVD記録再生に変遷する過渡期にある周辺機器では、DVDマルチドライブでの部品不足により製品の供給が不十分でありましたが、外部リソースの積極利用によるコストダウンや商品ラインアップの充実による欧州ディストリビューション市場での第3四半期後半における販売拡大等が、収益改善に寄与しました。

この結果、当第3四半期までにおける売上高は906億7千8百万円となりました。損益面におきましては、中間期に行なった希望退職等のリストラ効果もあり、当第3四半期の3ヶ月に関しましては急速な円高にも拘らず経常利益は黒字に転じ、収益性は改善しつつありますが、中間期の経常損失をカバーするには至らず、当第3四半期までの経常損失は1億2千2百万円となりました。当第3四半期純利益は、中間期に実施致しました希望退職による特別早期退職金の特別損失計上により、25億2千8百万円の損失となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年 3月期第3四半期	74,217	12,397	16.8	174.39
15年 3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	77,137	16,014	20.8	225.17

[財政状態 (連結) の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は前会計年度末(平成15年3月末)と比較して29億2千万円減少し、742億1千7百万円となりました。株主資本につきましては、当第3四半期純損失(平成15年4月1日から平成15年12月31日)の計上及び円高の影響による為替換算調整勘定の変動により、前会計年度末と比較して36億1千7百万円減少し123億9千7百万円、16.8%となりました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
通 期	百万円 120,000	百万円 300	百万円 2,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 33円75銭

上記の予想は、現時点で得られた情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

[業績予想について]

平成15年11月14日に公表致しました業績予想に変更はございません。

四半期連結（要約）貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	当第3四半期末		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表	
		平成15年12月31日現在	構成比	平成15年3月31日現在	構成比
		金額	%	金額	%
(資産の部)					
流動	現金及び預金	11,926		13,985	
	受取手形及び売掛金	19,365		19,782	
	有価証券	-		200	
	たな卸資産	25,713		26,732	
	そ の 引 当 金	5,997		4,379	
	貸倒引当金	616		581	
	流動資産合計	62,386	84.1	64,499	83.6
固定	有形固定資産	5,524		6,179	
	無形固定資産	863		923	
	投資その他の資産	5,454		5,545	
	貸倒引当金	10		10	
	固定資産合計	11,831	15.9	12,638	16.4
	資産合計	74,217	100.0	77,137	100.0
(負債の部)					
流動	支払手形及び買掛金	21,405		14,962	
	短期借入金	27,192		25,944	
	一年以上以内償還予定社債	-		3,300	
	賞与引当金	415		702	
	その他の負債	4,871		5,017	
	流動負債合計	53,884	72.6	49,926	64.7
固定	社債	500		500	
	長期借入金	1,055		4,548	
	退職給付引当金	6,307		6,067	
	その他の負債	36		33	
	固定負債合計	7,899	10.6	11,150	14.5
	負債合計	61,784	83.2	61,076	79.2
(少数株主持分)	少数株主持分	35	0.0	46	0.1
(資本の部)					
資本	本	7,730	10.4	7,730	10.0
資	本	11,334	15.3	11,334	14.7
利	益	3,490	4.7	961	1.2
	剰余金	54	0.1	31	0.0
	その他の有価証券評価差額金	3,198	4.3	2,030	2.6
	為替換算調整勘定	32	0.0	27	0.0
	自己株式				
	資本合計	12,397	16.8	16,014	20.8
	負債、少数株主持分及び資本合計	74,217	100.0	77,137	100.0

四半期連結（要約）損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別		当第3四半期会計期間		前連結会計年度の 要約連結損益計算書	
			自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		自平成14年4月1日 至平成15年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上	90,678	100.0	139,012	100.0		
売上原価	69,825	77.0	109,900	79.1		
売上総利益	20,852	23.0	29,111	20.9		
販売費及び一般管理費	19,528	21.5	28,277	20.3		
営業利益	1,324	1.5	834	0.6		
営業外収益	465	0.5	834	0.6		
営業外費用	1,912	2.1	4,001	2.9		
経常損失	122	0.1	2,333	1.7		
特別損失	166	0.1	1,296	0.9		
税金等調整前四半期(当期)純損失	3,629	4.0	835	0.6		
法人税、住民税及び事業税	3,586	4.0	1,872	1.3		
法人税等調整額	1,058	1.2	446	0.3		
少数株主利益又は損失()	6	0.0	458	0.3		
四半期(当期)純損失	5	0.0	2	0.0		
	2,528	2.8	2,779	2.0		